

AIG長崎ビル



所在地：長崎県長崎市常盤町1-1
 延床面積：20,279㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、5階建（一部4階建）
 設計：オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
 施工：建築／大成建設（株）
 電気／（株）九電工
 竣工：平成18年2月

カラフルな内装を施し、休憩スペースも充実している長崎県内最大級のオフィスビル。
 オフィスの照明は、広い室内をスッキリとしたシンプルな天井デザインで明るく、
 かつ目の負担を軽減できるようにシステム天井用器具OALルーバ付が採用されています。

長崎の美しい景観に配慮した建築デザインで、快適なオフィス環境を創出

長崎市の常盤・出島地区交流拠点用地に完成したAIG長崎ビルは、県内でも最大規模のオフィスビルです。これまで長崎市内に分散していたAIGグループのコールセンター業務や契約管理業務などが集約され、約1,400名の社員が勤務。平成18年末には約1,800名体制になる予定となっています。

新ビルは長崎の美しい景観に配慮したデザインのガラス張りの建物で、内部は社員が継続的に働きやすい環境を提供するため、カラフルな内装で広い空間が確保されており、休憩スペースも充実した快適なオフィス環境が形成されています。

共用スペースに開放的な光天井を採用、執務スペースは機能的でシンプルなシステム天井用器具を採用

建物の中央近くの各階にエスカレータホールが配置されており、その両側にオフィス、会議室などが配置された構成となっています。

各階のエスカレータホールの照明は、光天井の建築化照明で、自然光的な光による開放的な空間が創り出されています。光天井内には32WHf蛍光ランプトラフを交互に設置した均等配置とし、天井面に影のない均一な明るさを確保しています（初期照度2000lx）。

1階から4階のオフィスは、それぞれカラーパリエーションに変化をもたせ心地よい執務空間となっています。照明は、天井面をシンプルに魅せるようシステム天井用32WHf蛍光ランプ2灯用器具OALルーバ付を採用したライン配置とし、すっきりとした天井面デザインが形成されています。室内は、ガラス張りの広い空間のため、窓外の明るさで室内は視覚的に暗さを感じることから、設計照度850lxと通常より照度を高めにすると共にOALルーバによりグレアカットを図っています。同時に数多くあるパソコン画面への映り込みを防止し、目の負担を軽減しています。

また、トイレは人感センサと連動したコンパクト形蛍光ランプダウンライトを設置し、階段には人感センサ付階段灯を配置して、不在時の照明のムダをなくしています。

夜には、ガラス張りの外観からの漏れ光が周辺環境と調和した美しい夜の景観を創出しています。



2階吹抜けのエントランスホールからエスカレータホールを望む：光天井の建築化照明で開放感あふれる雰囲気創出



光天井で自然な明るさを確保した5階エスカレータホール



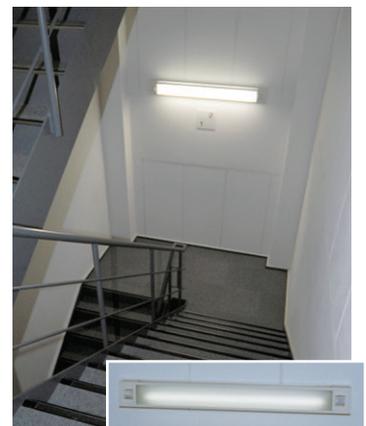
トイレ（男子）の照明



軒下前からエントランスホールの照明を望む



廊下の照明



階段に設置された人感センサ付階段灯



オフィスの照明(1):システム天井用32WHf蛍光ランプ2灯用器具OAルーバ付を採用。高照度を確認しつつ、グレアを制御し、目の負担を軽減



オフィスの照明(2):光源色に昼白色を使用し、すがすがしい雰囲気を創出



オフィスの照明(3):照明ラインには空調給排気口などの設備機器が組込まれている



5階に設けられた休憩スペース:オフィス環境の連続性を考慮し、オフィスの照明と同器具を採用



外観からの漏れ光が周辺環境と美しく調和した夜の景観を創出

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
オフィス階	システム天井用器具 (OAルーバ付)	特注	4,371	32WHf蛍光ランプ×2
		特注	140	32WHf蛍光ランプ
	埋込器具(OAルーバ付)	FHR-42943K-PN9	63	32WHf蛍光ランプ×2
	ダウンライト	FHD-31003-PM9	195	32Wコンパクト形蛍光ランプ
		FHD-31503-PM9	24	32Wコンパクト形蛍光ランプ
エスカレータ ホール、他	トラフ	FHT-41007N-PA9	899	32WHf蛍光ランプ
階段	人感センサー付階段灯	FHTS-41847N	31	32WHf蛍光ランプ
軒下	ダウンライト	FHD-41901-PM9	15	42Wコンパクト形蛍光ランプ